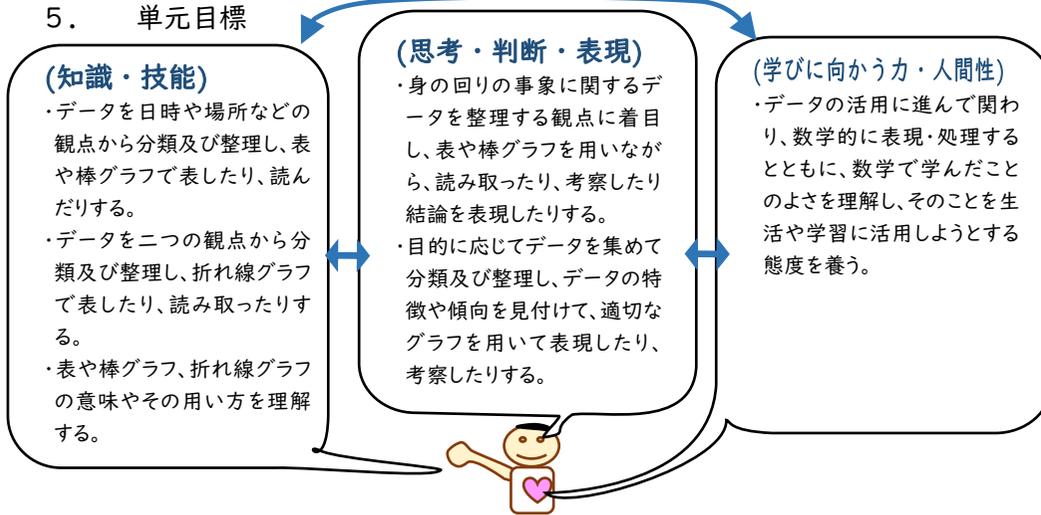


## 「グループ学習（数学）」学習指導略案

1. 日時・場所：11月28日（月）2限 10:00～10:50・プレハブ2階奥
2. 学年・グループ：中学部3年・Eグループ 5名
3. 担当：◎辰己
4. 単元(題材)名：「表とグラフ（特別支援学校学習指導要領中学部2段階D データの活用）」
5. 単元目標



### 6. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・データを表やグラフで表す方法や表とグラフを変換する方法を身に着けている。</li> <li>・量の大小を比較する際は棒グラフ、変化の様子を把握する際には折れ線グラフが適していることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表やグラフを読み取って整理し、推移を考察したり結論を表現したりしている。◎</li> <li>・目的に応じてデータを集めて分類し、適切なグラフを用いて表現しようとしている。◎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだグラフの知識を生活の場に生かそうとしている。◎</li> </ul>

◎本時の評価規準

### 7. 本時の目標：

- ・中学部の3年間の振り返りと自分の長所/短所を適切なグラフを用いて表現し、推移を読み取ろうとしている（思・判・表）
- ・グラフを通して自分自身を振り返り、前向きに表現しようとしている(主)

## 8. 展開 <7(本時)/8(全時間)>

時間	内容	指導上の留意点
10:00	あいさつ/本時の内容確認	
10:05	●グラフの種類/用途の再確認 3年間振り返りと自分の性格はどのグラフで表すか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板の画面に注目するよう伝える。</li> <li>・それぞれの用途に合ったグラフを選択するよう確認する。</li> </ul>
10:10	●グラフに書き込もう 棒グラフ/折れ線グラフ用紙に自分の数値を書き込む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦軸/横軸の目盛を確認するよう伝える。</li> <li>・定規を使って直線を引くよう伝える。</li> </ul>
10:20	●グラフを読み取ろう 3年間振り返り折れ線グラフから、気づいたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生と2～3年生の全体像や同じ時期の数値を比較するよう伝える。</li> <li>・1年生と比べた自分の変化や成長を前向きに受け止められるよう言葉かけする。</li> <li>・グラフにするとデータが視覚的にわかりやすいことを共有する。</li> </ul>
10:35	●Keynoteでグラフを表そう 自分の性格をレーダーチャートで表すよう、グラフデータを編集し数値を入力する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板に同じ画面を提示し、操作方法を視覚的に示す。</li> <li>・長所と短所の凸凹があって当たり前ということを共有し、短所も含めた自分像を受け入れやすい雰囲気づくりをする。</li> <li>・時間があれば、Keynoteのプロフィールシート作成（好きなこと/得意なこと入力と画像検索）を続けるよう伝える。</li> </ul>
10:45	●振り返りノート	
10:50	あいさつ	

準備物：「3年を振り返って」「自分の性格」ワークシート（生徒ファイル内）、グラフシート（棒/折れ線）、教員用iPad（Keynoteスライドデータ）、生徒用iPad（Keynoteプロフィールシートデータ）、貸出用定規

能力領域	各段階で育てたい力	1段階	2段階	3段階	4段階	主な自立活動の観点
人と 人間関係 形成	自他の理解	①自分のことがわかる。 ②他者の存在に気づく。	①自分の良いところを知る。 ②友だちと仲良く遊ぶ。	①相手の気持ちや考えを感じる。 ②様々な体験を通して自信をつける。	①相手のことを考えて行動しようとする。 ②自分や友だちの長所や短所に気づき、互いの個性として認め合う。	心理的な安定 人間関係の形成 コミュニケーション
	集団参加	①大人とのやりとりを通して学級集団に参加する。 ②大人とのやりとりを通して様々な規模の集団に参加する。	①集団活動に参加し、みんなと同じ活動に取り組むことができる。 ②ルールを守って集団活動に参加する。	①友だちとのやりとりを通して集団活動に参加する。 ②集団における役割を理解し、協力する。	①様々な人との活動に取り組む。 ②社会の一員としての役割を理解し、遂行する。	
	意思表現	①快・不快を表す。 ②自分の好きなこと、嫌いなことを表現する。	①困った時に助けを求められることができる。 ②気持ちや要求を伝えることができる。	①必要な支援を求める。 ②自分の気持ちを具体的に説明する。	①自分の意思や気持ちを相手に適切な方法で伝える。 ②必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる。	
社会へ 情報活用 ・ 将来設計	情報への関心	①身近なものへ関心をもつ。	①様々なことを経験して関心をもつ。 ②分からないことを聞くことができる。	①社会の様々な情報に触れ、興味・関心をもつ。 ②進路を意識して視野を広げるために情報を収集して活用する。	①SNSや友だちとの会話の中で情報を適切に判断する。 ②学んだり体験したりしたこと、自分の生活や職業との関連を、多面的に情報を集めて考える。 ③職業生活、社会生活に必要な事柄の情報を収集し活用する。 ④職場見学や実習を通していろいろな職業や生き方があることを知る。 ⑤実習を通して、働く場と学校の違いを知り、社会参加する。	環境の把握 健康の保持 身体の動き 心理的な安定 コミュニケーション
	社会資源の活用	①日常生活に必要な簡単なルールを知る。	①公共施設や公共交通機関を活用した生活経験を増やす。	①社会生活に必要なルールや仕組みを理解し、実践する。	①社会の様々な制度やサービスを利用し、ルールやマナーを踏まえたうえで、実際の生活で利用する。 ②図書やインターネットを積極的に活用し、自分に必要な情報を収集する。 ③社会の法制度や福祉サービスの活用の仕方や手続きを知る。 ④働く上で必要なルールやマナーを理解する。	
	消費生活	①大人と買い物に行く。	①体験を通して、金銭のやりとりに関する簡単なルールを知る。 ②お金の大切さを知る。	①金銭の使いかたを知る。 ②金銭の基本的な管理の方法を知る。	①労働と報酬の金銭関係を知る。 ②労働と報酬の関係を理解するとともに、消費生活について考える。	
	社会的役割	①身近な係活動や役割について知る。 ②手伝いなど目的のある行動ができる。	①様々な活動を経験し、好きなこと、楽しいことを見つける。 ②係活動等における役割を理解し、最後までやりきる。 ③決められた時間やきまりを守る。 ④将来についての憧れをもつ。	①社会にはいろいろな職業があることを知り、興味・関心をもつ。 ②働くことに関する取組みを経験する。 ③様々な職業の社会的役割を理解する。 ④将来についての夢をもち、将来の職業について考える。	①卒業後の社会人生活に関心をもつ ②自分の社会的役割を理解し、責任をもって行動する。 ③仕事や働くことに積極的に取り組み、働くことのやりがいや楽しさを知る。 ④自分に適した職業を考える。 ⑤働く生活を中心とした新しい生活に期待を持ち、そのための準備をする。 ⑥自分の意志で好きなことをする時間をもつことにより、仕事や生活に張りかたがることを知る。	
	習慣形成	①規則正しい生活リズムを送る。 ②活動の準備や片づけをする。 ③あいさつや返事をする。 ④体を動かして、あそぶことを楽しむ。	①学校・家庭生活に必要な習慣を身につける。 ②身だしなみに気をつける。 ③あいさつの習慣をつける。 ④様々なあそびや活動を通して、体の動かし方を身につける。	①学校・家庭生活に必要な習慣を自主的に行う。 ②身だしなみを整える。 ③状況に応じた言葉遣いやふるまいを知る。 ④運動習慣を身につけ、適正なからだ作りを行う。	①社会生活、職業生活に必要な習慣を理解し身につける。 ②場に応じた清潔や身だしなみについて理解し、実行する。 ③状況に応じた言葉遣いやふるまいを覚える。 ④健全な社会生活を送るため、体調・体重管理を行う。	
自分で 意思決定	目標設定	①自分のことは自分で行おうとする。	①目標を意識して活動しようとする。 ②自分の役割を最後までやり通そうとする。	①自分の将来について考えることができる。 ②目標を実現するための主体的な計画を立てる。 ③自分の仕事に対して責任をもち、最後まで行うことができる。	①自らの判断で目標を決める。 ②将来の目標実現に向けて方法や進め方、時期を考え、計画を立て実行する。 ③将来設計や進路希望の実現を目指した目標の設定とその解決に取り組む。 ④自分の課題を理解し、その解決に向けて取り組もうとする。	心理的な安定 人間関係の形成 環境の把握 身体の動き
	自己選択	①あそびや活動に取り組むことができる。 ②自分の好きなあそびや活動を2択から選ぶことができる。	①自分の好きなあそびや活動を複数の中から選ぶことができる。 ②状況や問いに応じたものを選ぶことができる。	①様々な活動の中から自分のやりたいことを進んで選び、取り組むことができる。 ②将来の働く生活について考え、選択肢を広げる。	①実習などの体験に基づく進路選択や卒業後の進路先を選ぶことができる。 ②自己の個性や興味・関心に基づいて、主体的な選択をしようとする。	
	振り返り・自己調整	①達成感を味わう。 ②興味・意欲・関心をもつ。 ③好き嫌いがわかる。	①活動の振り返りができる。 ②色々なことに取り組もうとする。 ③好き嫌いを選ぶことができる。	①活動場面での振り返りとそれを次に活かそうと努力する。 ②課題解決のための選択肢を活用する。 ③自分の得意、不得意を知る。	①実習などの活動の自己評価をする。 ②将来に希望をもち、実現に向けて自己の課題を主体的に克服しようとする。 ③自らの課題に気づく大切さを理解し、より良い社会生活、進路決定をめざす。 ④課題解決のために様々な選択肢があることを理解し、活用する。	